

特定非営利活動法人
ちきゅう市民
クラブ

設立趣意書

私たちは平和な世界を望みながらも、現状、戦争や紛争の絶えない世界に生きています。また、私たちの生活は常に世界と接しており、食糧問題・環境問題・経済の問題でもはや1国内だけで解決できない相互依存の関係の中におかれています。これからは国や人種を超えて、ますます地球市民としての意識・行動が大切になっていきます。

一方、今や日本中のいたる地域で、外国人がともに暮らしています。生活することで家族を形成し、幼稚園や小学校でも多くの異文化の出会いが普通の時代になってきました。世界はますます小さくなり、地域はますますグローバル化の一途を辿っています。

しかし、まだまだ誤解や偏見も多く存在し、お互いを理解しあう「場」が少ないのが現状です。日本で暮らす様々な方々が抱える困難を知り、理解しあい・助け合うことも必要です。このような簡単なことがなかなか出来ないのは心のバリアが原因ではないでしょうか。日本人・外国人を何のへだてなく普通につき合い、同じものに共感する一方で、違う文化や生活習慣を認め合い・理解しあい、その価値の多様性が世界を豊かにしている恩恵をわかちあうことは、なんら特別のことではないはずです。

また、私たちは他国の災害時や戦時においては、多くの支援を心に思いますが、マスコミがニュースで報じなくなると、それに呼応していつしか忘れてしまいがちです。

しかし世界は常に様々な状況で現存し、私たちの生活もその関連の中で同時に進行しています。発展途上国の人材育成ももちろん大事ですが、先進国の精神的にも経済的にも余裕のある社会で、地球市民としてのアイデンティティを備えた人材育成を推し進め、その人びとが実践的に国際社会で活躍できるようにする活動は、さらに大事なことであり有意義なことだと考えます。

このような考えのもと、この団体は広く一般に対して異

文化理解促進に関する事業を行い、また、おもに次世代を担う子どもを対象に真に国際社会に貢献できる地球市民の育成を推進するために設立されました。

次代を担う子どもたちが、生活の中で異文化と出会い、文化の多様性を理解し、共に地球市民としてその役割を担っていけるようにさまざまな異文化理解・国際理解・交流活動を展開・推進します。その時だけの関心者ではなく、常に世界に心配りのできる地球市民の育成に寄与しひいては次代の、より平和でより豊かな国際社会づくりに貢献することをも目的とします。

以上の活動を、社会的責任と信用のもとより円滑に遂行するために、ちきゅう市民クラブは特定非営利活動法人格を取得し、自治体や小学校・中学校・大使館など公的機関と連携して、更なる貢献にむけて活動を進める所存です。



会長 千代鳥 モーミンウッディン
工学博士

副会長・事務局長 川島 佳子



イラスト★ハラダチエ



定款より

(目的)

第3条 この法人は、広く一般市民に対して、普及啓発や調査研究等の異文化理解促進に関する事業を行うとともに、次世代を担う子どもを対象に生活の中で異文化と出会い、文化の多様性を理解することにより真に国際貢献できるちきゅう市民の育成をすることで、国際理解、国際交流、国際平和に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 社会教育の推進を図る活動
- (2) まちづくりの促進を図る活動
- (3) 学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動
- (4) 環境の保全を図る活動
- (5) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- (6) 国際協力の活動
- (7) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- (8) こどもの健全育成を図る活動
- (9) 科学技術の振興を図る活動
- (10) 消費者の保護を図る活動
- (11) 以上の活動を行なう団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動